



進級、入園をしてから早一か月、子どもたちは新しい環境・大人にも慣れてきて、安心して保育園生活をおくっています。園庭では春のダンゴムシや蝶等の生き物やチューリップやクワの実等の植物に興味を持ち、お友達同士で「あっちにだんごむしいるよ」「きょうはあったかいね〜」と会話を楽しみながら遊ぶ姿が見られています。

たんぽぽ組になり机や椅子が増え、机上コーナー・おままごとコーナー・積み木コーナー・絵本コーナーの場所が、あんず組のお部屋の時とはっきりと分かれています。今回のくれよんではさらに詳しく、コーナー・玩具の紹介をしていきたいとおもいます。

【おままごとコーナー】

おままごとコーナーでは人数が多くなりすぎないように、4人までという設定をしています。人数が多くなってしまうときは「今は沢山いるから、少なくなったら呼ぶね!」と声をかけ違う遊びに誘っています。レンゲ・お皿・などは4人分出して、一人が一つずつ使えるようにシラブルを防いでいます。最近是谁かが新しくおままごとに参加すると「はいこれー」とスプーンを渡す姿が見られ、「これ一緒に食べようよ」と食べさせ合ったりしながら、和やかな空気感の中で遊びを行っています。

【構築コーナー】

・大人が作った物を真似して、完成した物を何かに見立てるような声掛けをしています(トンネルできたね、お家みただね、など)。繰り返し遊んでいくうちに子どもたちから「〇〇作る!」と言って自分から作るようになっていきます。異なる積み木を組み合わせて天井を作ったり、工夫をしながらあそび、最近では建築コーナー全体を積み木で囲んで大きなお家にして遊ぶ姿がよく見られています「一緒に入ってもいいよ」と優しい声掛けも行いながら楽しむ姿が見られています。

【机上コーナー】

- ・ポトリンコ…1歳児の時より難易度が上がった物(指先の細かい動きが必要なもの、腕全体を使って動かす物)があります。
 - ・型はめ…形の認識を必要とする遊び(○△□の認識や凹凸の認識)があります
 - ・パズル…絵柄を認識したり、端がどこの部分かわかるようになることができるようになっていきます。子どもの発達に合わせて2~48ピースの様々な種類のパズルを用意しています。
- これらを使って一人で黙々と遊んだり、友だちの隣に行ったりパズルを一緒に行ったり、友だちや大人と関わりながら遊ぶ事が増えてきています!

【絵本コーナー】

季節に合わせたものや、子どもたちが気に行っているものを置いています。主に大人と一緒に読んだり、一人で広げて眺めています。時々、子ども同士で絵本を見ていることもあります。

絵本に出てくる食べ物、生き物等を記憶し、「これ(絵本で)みた」と伝える姿も見られてきています。

最近だとパンの絵本をみんなで読み、「私これがいい!」「これとこれ」とみんなで好きなパンを教え合ったりしながら読んでいます。